



福島市小鳥の森通信

# しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう96

## トラツグミ

分類 スズメ目 ヒタキ科

住んでいる環境

・うす暗い森、木の多い公園など

見られる時期

・冬（11月～3月）

小鳥の森で見られる場所

・かんさつ広場、自由広場



あべ あらたさん（7才）がかいてくれました。

## 1月 いきもの森予報

### 冬の顔

冬は木の葉が落ちて、森の中はすっきり。草花も虫も寒い冬をじっと耐えて、春を待っています。そんな生き物たちが静かに眠っている季節にしか見られない“冬の顔”。皆さん何だかわかりますか？それは木の葉が枝についていたところに残る痕（あと）、葉痕（ようこん）です。小鳥の森で見られる葉痕をいくつか紹介しましょう。



アジサイ

ハート型の顔



リョウブ

大きなぼうしをかぶっています



ガマズミ

暖かそうなぼうし顔は三日月型



ヤマウルシ

こちらはモコモコぼうし



サンショウ

トゲが手を大きくひろげているよう

冬の顔（葉痕）は木の種類によって様々で、中には面白いものもあります。いろいろな表情の葉痕を探しながら歩くと、森歩きがいっそう楽しくなります。

## モズのはやにえ（続編）

先月紹介した「モズのはやにえ」。そのあと再びネイチャーセンター周辺でモズがはやにえする姿が観察されました。今回ターゲットにされたのはフキバッタのなかまでした。

また、前回あったアオオサムシのはやにえは食べられてしまったのか、さされていた木の下にそのざんがいがありました。きっとこれを食べたオスはさえずりが上手になったはず！（前号参照）



はやにえにされたフキバッタのなかま



モズ

## 凶作（きょうさく）

身近な木の実といえばどんぐりではないでしょうか。小鳥の森で見られるどんぐりの木は3種類（コナラ、クヌギ、シラカシ）あります。これらのどんぐりはいつでも実をつけると思われがちですが、2～3年周期で、実をたくさんつける年（豊作（ほうさく））とつけない年（凶作）をくり返します。

今年の小鳥の森はどんぐりがとても少ない凶作の年。リスやネズミ、タヌキなどどんぐりが大好物な動物が小鳥の森にも住んでいます。今年の冬はみんなどんぐりがなくて困っているかもしれませんね。

## スタッフだより

### 実や種のある植物を探そう

冬の野鳥探しのコツは「食べ物を探す」ことです。夏と異なり冬は虫が少ないので、植物を食べて生活をする野鳥が多くなります。例えば、ジョウビタキはヌルデやピラカンサスの実など、ベニマシコはセイダカアワダチソウの種など、ツグミやメジロはカキやアオハダの実などを食べます。また雪が積もると地面に落ちていた食べ物が雪にうもれてしまうので、木や枯草に残っている実や種に野鳥は集まることが多くなります。身近な場所で実や種のある植物があれば、そこにどんな野鳥が食べに来るか待ってみてください。初めて見る野鳥に会えるかもしれません。



（写真：ウメモドキの実を食べるジョウビタキ）  
スタッフ ほそい としひろ

## 出前講座のご案内

小鳥の森では、市内の学校や学習センターなど様々な団体向けに出前講座を実施しています。

森の話や自然素材（放射線量の低い地域や県外からの寄付でいただいたもの）を用いた工作など色々な講座内容を用意しております。季節や人数、活動時間に合わせたプログラムの作成、組み合わせも可能です。

受付は先着順に行っていますので、希望日の2週間前までに電話かFAXにてお申し込み下さい（※希望日に予約が入っていた場合、対応できないこともございますので、ご了承ください）。



出前講座の様子

\*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページで**カラー版**をご覧ください。

\*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2020年1月号№407 / 企画・発行：福島市小鳥の森 / 日本野鳥の会ふくしま